

2026

WASEDA BUSINESS SCHOOL
Top Management Program

早稲田大学ビジネススクール
トップマネジメント研修



● 2026年10月19日(月) — 10月23日(金) **5日間**



WASEDA University

開催概要

プログラム概要

本プログラムは、経営を担うマネジメントクラスの人材を対象とした、高度で幅広い視点に立ったトップマネジメント向けのプログラムです。激変するグローバル競争や国内の構造変化に対応できる企業幹部の養成を目的としています。

連続5日間の凝縮したプログラム、かつ35名限定での密度の濃いセッションを通じ、短期間で企業経営者が押さえるべき各分野の要諦を学ぶ構成になっています。1日1テーマずつ、経営戦略、競争戦略・市場創造戦略、ファイナンス、グローバル戦略、リーダーシップの5テーマを効率よく学びます。

講師陣にはBCG元日本代表の杉田浩章をはじめとする実務経験豊富な早稲田大学ビジネススクール教授陣をそろえており、実践に即したリアリティのあるプログラム内容となっています。また、講師による講義のみならず、参加者一人一人の発表や、数人でのグループディスカッションを組み入れ、異業種の参加者間で刺激を与え合う、インタラクションを重視した研修となっています。

プログラムの特長

◆5日間で経営者が押さえるべき分野の要諦を網羅

日々の実務を越えて、企業のトップマネジメントとしての基本を短期間に凝縮して集中的に学ぶことができます。

◆実務経験を持つ講師陣

全員が多様な分野のビジネス経験、コンサルティング経験を持つ早稲田大学ビジネススクールの講師陣が担当します。

◆インタラクティブなセッション

講師による双方向の講義、ケーススタディ、ゲストスピーカーによる講演を適宜織り交ぜたセッションを行います。

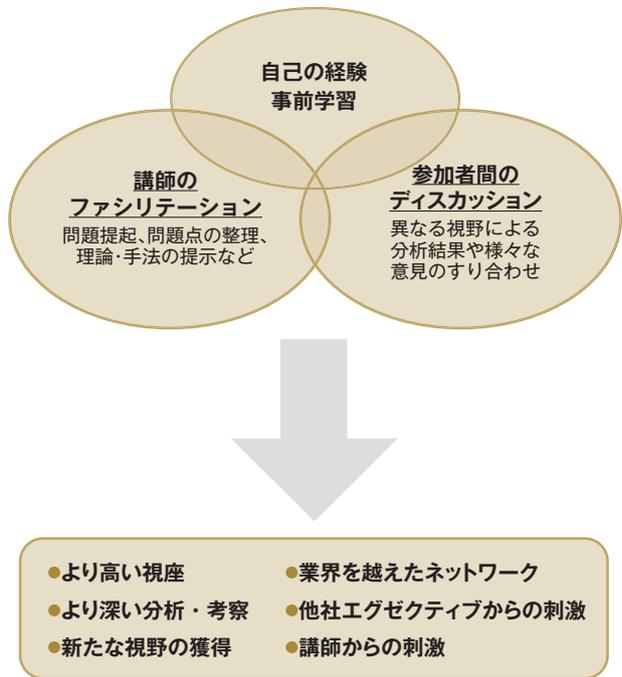
◆多様な受講生によるディスカッション

分野の異なる多様な企業からの受講生が参加する中で、各社混合のグループワークや受講生全体での討議を行います。35名限定の密度の濃い研修で培われたネットワークは生涯の財産となります。

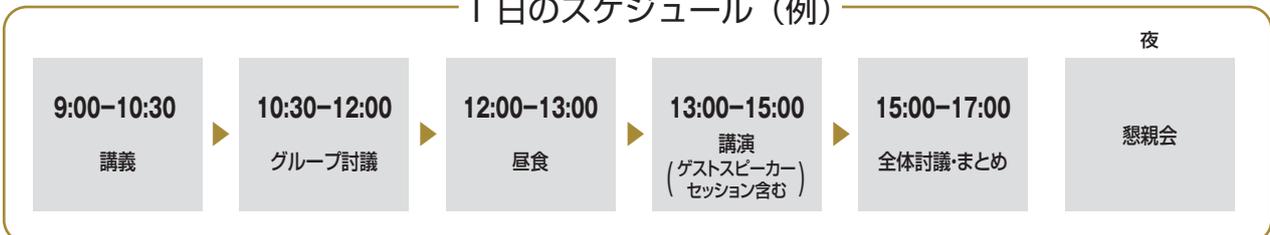
◆実践的でタイムリーな内容

各セッションでは、企業経営者が押さえるべき基本を様々な角度から踏まえながらも、最近の経済情勢やグローバル競争を見据えたタイムリーな内容を扱い、実践的で即効性のあるプログラムとなっています。

激変するグローバル競争や国内の構造変化に対応できる企業幹部の養成



1日のスケジュール（例）



10月19日(月)

テーマ 「変革の時代のグローバルリーダーシップと組織・人事戦略」 堀江 徹

グローバルリーダーとして、ビジネス戦略から組織・人事戦略への落とし込み、日本のプレゼンス、リーダーの役割・動機・覚悟について学び、考え、議論し、適用する。

10月20日(火)

テーマ 「トップにとっての経営戦略」 杉田 浩章

経営環境変化が激しく、先が見通せない状況の中で、これまでの延長線上での戦い方では通用しないと感じる経営者が多いはずである。イノベーションのジレンマを乗り越え、持続的に再成長できる基盤を創り上げるためには、長期的な視点に立った企業のトランスフォーメーション戦略が必要となる。本テーマでは、そのポイントについて実際の事例とフレームワークを通じて学習する。さらにケーススタディを通じて自ら考えてもらうことで、単なる理論の習得に終わらず使える経営戦略を身につける。その際、事業戦略の責任者の立場に留まらず、経営者の視点で企業全体を変革する視点で戦略を捉え、意思決定することが大事になることは言うまでもない。

10月21日(水)

テーマ 「アカウンティング&ファイナンス」 西山 茂

グローバルにビジネス展開をする企業が多くなり、客観的に状況を把握し適切な意思決定を行うことの重要性が高まる中で、経営者がアカウンティングやファイナンスのポイントを押さえておくことの必要性が高まっている。しかし、経営者には経理・財務担当者や専門家とは異なる視点が必要となる。レクチャーとケーススタディを通じて、セオリーと実務の両面から経営者視点での数字の活用法について学んでいく。

10月22日(木)

テーマ 「資本コストを超えるリターンと企業価値創造」 本田 桂子

企業価値創造については、すべての企業がこれを指すと明言されている。証券取引所は、資本コストを意識し、これを超えるリターンを求めている。その一方、純資産を下回る時価総額の企業の存在も散見される。企業価値を創造するとはどういうことかを簡潔に定義することで、企業内で理解を共有し、加えて、どういった企業がどのように企業価値を創造しているのかを議論する。

10月23日(金)

テーマ 「競争戦略と市場創造戦略」 池上 重輔

本講義ではトップマネジメントとして経営と戦略の関係をどう考えるのか、競争戦略における基本的なフレームワークからビジネス生態系を意識した戦略までを概し、さらに市場創造戦略の概略を学ぶ。さらにこれらの戦略をどのように使い分けるかの基本的な考え方もお伝えすることによって、複雑で変化の激しい環境にどのように戦略を対応させてゆくかのイメージをつかんでいく。インタラクティブなレクチャーとケースメソッドを組み合わせ、理論と実践が融合したセッションを行う。

講師



杉田 浩章

Hiroaki Sugita

■ 早稲田大学ビジネススクール教授
(プログラムコーディネーター)

■研究テーマ:

総合経営、トランスフォーメーション戦略、新規事業

■略歴:

東京工業大学卒業。慶應義塾大学経営管理研究科修了(MBA)。ボストン・コンサルティンググループ(BCG)元日本代表。現在はシニアアドバイザー。ユニ・チャーム社外取締役、カルビー社外取締役、エクサウィザーズ社外取締役、Luup社外取締役、NOT A HOTEL社外取締役、SkyDrive、アスエネ、Farmnote、Aillis、Acompanyなどの顧問。

■主要著書:

『スタートアップの技法』日経BP 2025年
『10年変革シナリオ 時間軸のトランスフォーメーション戦略』日経BP 2023年
『プロフェッショナル経営参謀』日経BP 2020年
『リクルートの「すごい構」創力 アイデアを事業に仕上げる9メソッド』日経BP 2017年
『BCG流 戦略営業』日経BP 2016年



堀江 徹

Tetsu Horie

■ 早稲田大学ビジネススクール教授

■研究テーマ:

グローバルリーダーシップ、組織・人材マネジメント

■略歴:

早稲田大学商学部卒業、NTUシンガポール南洋理工大学MBA修了。住友商事、マーサー日本企業統括アジア本部長、マーサータイランド社長、ヘイグループ日本企業統括グローバル本部長、エーオンヒューリットジャパン代表取締役社長、EY組織人事コンサルティング統括 パートナー兼人事本部長、株式会社堀江コンサルティング代表取締役社長を歴任。早稲田大学トランスナショナルHRM研究所所長。エグゼクティブコーチ。英国、中国、シンガポール、タイに16年間駐在。

■主要著書:

『NEW NORMAL 早稲田大学MBAの教授陣が考えたビジネスの新常态』(共著)KADOKAWA 2021年
『海外駐在の極意 幻冬舎メディアコンサルティング 2017年
『グローバルマネジャーの育成と評価』(共著)早稲田大学出版部 2014年



西山 茂

Shigeru Nishiyama

■ 早稲田大学ビジネススクール教授

■研究テーマ:

会計学、企業財務論

■略歴:

早稲田大学政治経済学部卒業、米国ペンシルバニア大学ウォートンスクール経営学修士課程(MBA)修了(専攻:ファイナンス、アカウンティング)、学術博士(早稲田大学)
監査法人トーマツを経て株式会社西山アソシエイツを設立し、2002年より早稲田大学。2006年より現職。公認会計士。大手上場公開企業の社外役員等も兼任。

■主要著書:

『価値創造の戦略と財務』日経BP社 2024年
『海外駐在の極意 幻冬舎メディアコンサルティング 2017年
『グローバルマネジャーの育成と評価』(共著)早稲田大学出版部 2014年
『ビジネススクールで教えている会計思考77の常識』日経BP社 2018年
『戦略管理会計』改訂2版 ダイアモンド社 2009年
『M&Aを成功に導くBSC活用モデル』白桃書房 2007年
『企業分析シナリオ』第2版 東洋経済新報社 2006年



本田 桂子

Keiko Honda

■ 早稲田大学ビジネススクール教授

■研究テーマ:

グローバル経営、コーポレートファイナンス

■略歴:

企業価値創造型経営、コーポレートガバナンス、サステナブル投資等を専門とする。米ペンシルバニア大学経営学大学院(ウォートンスクール)修士課程修了(MBA)。マッキンゼーのシニアパートナー、世界銀行グループ多数国間投資保証機関長官CEO、コロンビア大学国際公共政策大学院客員教授を経て2025年4月より現任。東京大学運営方針会議議長、国連投資委員会委員、三菱UFJフィナンシャルグループ・リクルートホールディングス・AGCの社外取締役もつとめる。

■主要著書:

『ESG投資の成り立ち、実践と未来』(伊藤隆敏先生と共著)日本経済新聞出版 2023年
『企業価値経営』(鈴木一功先生と共訳)ダイアモンド社 2012年
『企業価値評価』第5版(上・下)(監訳 佐藤克宏先生と共訳)1章執筆ダイアモンド社 2012年
『企業価値評価』第4版(上・下)(監訳・共訳と1章執筆)ダイアモンド社 2006年
『企業価値評価』第3版(監訳・共訳と1章執筆)ダイアモンド社 2000年
『マッキンゼー事業再生』(監訳と1章執筆)ダイアモンド社 2004年



池上 重輔

Jusuke Ikegami

■ 早稲田大学ビジネススクール
研究科長/教授

■研究テーマ:

新興市場の市場創造、サービスマネジメント

■略歴:

早稲田大学商学部卒業。一橋大学経営学博士。英国ケンブリッジ大学経営大学院MBA。ボストンコンサルティンググループを経て、マスターフーズブランドマネジャー、ソフトバンクEBCホールディングス新規事業統括ディレクター、ニッセイ・キャピタル(株)チーフベンチャーキャピタリストなどを歴任。早稲田大学商学部准教授、同大留学センター准教授を経て、2016年より現職。グローバル企業向けのエグゼクティブプログラムの立案・運営・講義の経験が豊富。

■主要著書:

『マーケティングの実践テキスト』(共著)JMAM 2020年
『インバウンド・ビジネス戦略』(監修)日本経済新聞出版社 2019年
『チャイナ・ウェイ——中国ビジネスリーダーの経営スタイル』(監訳)英治出版 2019年
『シチュエーション・ストラテジー』中央経済社 2016年
『MBAの思考法』(共著)中経出版 2011年
『シリーズ国際ビジネス:サービス産業の国際展開』(共著)中央経済社 2008年
『日本のブルー・オーシャン戦略』(共著)ファーストプレス 2008年

タイムスケジュール(予定)

	時 間	プログラム	講 師	
Day1	10/19(月)	9:00~9:45	イントロダクションと自己紹介	早稲田大学ビジネススクール 教授 杉田 浩章
		9:45~11:00	ビジネス戦略と組織・人事戦略	
		11:00~12:00	グローバルリーダーシップ	早稲田大学ビジネススクール 教授 堀江 徹
		12:00~13:00	昼食	
		13:00~14:30	役割と動機・価値観	
		14:30~16:00	変革のステップ	
		16:00~17:00	適用	
		17:10~18:00	ウェルカム懇親会	
Day2	10/20(火)	9:00~10:00	ワークショップ「企業変革における自社の課題とその真因」	早稲田大学ビジネススクール 教授 杉田 浩章
		10:00~12:00	ケーススタディ「長期トランスフォーメーションの事例」	
		12:00~13:00	昼食	
		13:00~15:00	ミニケースと講義「長期トランスフォーメーションの要諦」	
		15:00~17:00	ゲスト講師を交えた討議	
		17:10~18:00	懇親会(任意参加)	
Day3	10/21(水)	9:00~10:30	財務諸表の読み方(講義&クイズ)	早稲田大学ビジネススクール 教授 西山 茂
		10:30~12:30	ROEの意味と財務比率の使い方(講義&ショートケース)	
		12:30~13:30	昼食	
		13:30~16:00	ケース・スタディ:ハインツ(A) & (B)	
		16:00~17:00	まとめ	
		17:10~18:00	懇親会(任意参加)	
Day4	10/22(木)	9:00~11:00	企業価値を創造するとはどういうことか	早稲田大学ビジネススクール 教授 本田 桂子
		11:00~12:30	企業価値創造のケースをチームにわかれて討議・発表準備	
		12:30~13:30	昼食	
		13:30~14:30	チームの上記ケースについての発表	
		14:30~15:30	ケースの総括と企業価値創造への意味合い	
		15:30~17:00	日本における資本コストをこえる経営とは	
		17:10~18:00	懇親会(任意参加)	
Day5	10/23(金)	9:00~12:00	インタラクティブレクチャー:競争戦略	早稲田大学ビジネススクール 研究科長/教授 池上 重輔
		12:00~13:00	昼食	
		13:00~14:30	ケース討議「アップルの経営と戦略」	
		14:30~16:00	インタラクティブレクチャー:市場創造戦略	
		16:00~16:30	インタラクティブレクチャー:全社戦略と戦略の使い分け方	早稲田大学ビジネススクール 教授 杉田 浩章
		16:30~17:00	全体のまとめ	
		17:10~18:00	修了懇親会	

※スケジュールは変更になることがあります。

参加企業・機関一覧

(社名五十音順)

2012～2025年度

会社名

アイテック阪急阪神(株)
味の素ファインテクノ(株)
ERIホールディングス(株)
EMGマーケティング合同会社
イオン(株)
ANAテレマート(株)
(株)ウフル
(株)エクセディ
NECソリューションイノベータ(株)
エレコム(株)
大塚製薬(株)
岡三証券(株)
オクサリスケミカルズ(株)
(株)カネカ
カルビー(株)
(株)関西みらい銀行
(株)かんぽ生命保険
カンロ(株)
(株)キャピタル・アセット・プランニング
Keysight Technologies Japan
キュービー(株)
キュービータマゴ(株)
グリーン産業(株)
(株)再春館製薬
(株)埼玉りそな銀行
サントリーホールディングス(株)
(株)静岡銀行
しずぎんハートフル(株)
静銀モーゲージサービス(株)
学校法人品川女子学院
(株)シマノ
清水建設(株)
(株)JERA
(株)J-オイルミルズ
ジャパン マリンユナイテッド(株)
スチールプランテック(株)
(株)ストライプインターナショナル
住友生命保険相互会社
セイコーホールディングス(株)
全国農業協同組合連合会
全日本空輸(株)
ソニーデジタルネットワークアプリケーションズ(株)
損害保険ジャパン(株)
SOMPOひまわり生命保険(株)
SOMPOホールディングス(株)
第一生命保険(株)
(株)大京
大和証券(株)
大和ハウス工業(株)
千代田化工建設(株)
テルモ(株)
(株)中電工
東急保険コンサルティング(株)
(株)東急モースデベロップメント
東急ライフシア(株)
東急(株)
(株)東京エネシス
東燃ゼネラル石油(株)
豊田通商(株)
日機装(株)
日光ケミカルズ(株)
日本アイリッヒ(株)
日本ERI(株)
日本ハム(株)
(株)日本マイクロニクス
日本無線(株)
ネスレ日本(株)
野村證券(株)
ハギワラソリューションズ(株)
(株)長谷工コーポレーション
パナソニック(株)
パナソニックホームズ(株)
阪急電鉄(株)
(株)阪急阪神ビジネスアソシエイト
阪急阪神不動産(株)
(株)阪急阪神ホテルズ
阪神電気鉄道(株)
阪神阪急ホールディングス(株)
(株)阪神ホテルシステムズ
日置電機(株)

受講生の声

Q. 研修内容(構成)全体は如何でしたか。

- A. 短期間集中で講師の経験談も交え、経営者の考え方、成功／失敗の事例とそのポイントを学び、スキルアップできる有意義な時間です。書籍を読むだけでは得られない同じ悩みを持つ仲間達と同じ時間を共有できる場でした。
- A. 実践の経験が豊富な一流の教授陣の講義を受けながら自らの経営の考え方を再構築できる場であり、業種を越えた役員ネットワークという資産を得られる貴重な場となりました。
- A. 錚々たるご経歴の先生方による双方向の考えさせられる講義は、知識の習得だけでなく、経営の難しさや面白さを知ることができて、何より自分自身の意識が変わりました。
- A. 経営に関して理論と事例、議論を通して多面的に学び感じることができる。

Q. 今後受講する方へ、一言お願いします。

- A. トップマネジメントの考え方を、本当に分かりやすく、飽きさせず、引き込まれる授業
- A. 講師の経験や事例を通じて成功した経営者だけでなく失敗した事例も参考になった
- A. 企業とは何か、株主価値、経営の規律など深く考える機会となった
- A. 毎日「気づき」があります。そして何よりも新たな仲間を得ることができます
- A. 日々の業務に追われる中で、非常に貴重な機会だと思います。ぜひ参加を検討すると思います

東日本旅客鉄道(株)
広島県
(株)ファミリア
(株)フコク
芙蓉総合リース(株)
ブラザー工業(株)
(株)ボルテックス
(株)マクロミル
マブチモーター(株)
丸紅(株)
(株)丸紅フットウェア
(株)マンダム
三井金属鉱業(株)
三井住友DSアセットマネジメント(株)
三井倉庫(株)
三井倉庫ホールディングス(株)
三井不動産(株)
三菱鉛筆(株)
三菱電機(株)
三菱電機エンジニアリング(株)
(株)三菱UFJ銀行
光村印刷(株)
村田機械(株)

(株)明電舎
メディアア生命保険(株)
ヤマト運輸(株)
ヤマトホームコンビニエンス(株)
ヤマトホールディングス(株)
(株)山屋屋
(株)ゆうちょ銀行
ユニチャーム(株)
ライオン(株)
(株)りそな銀行
(株)りそなホールディングス
(株)WOWOW



